

令和2年度第2回いきいき健康プランにっしん21推進委員会議事録

日時 令和3年3月17日 水曜日 午後2時から午後3時まで

会場 日進市保健センター 2階会議室

出席者 [会場]

大澤功、大須賀恵子、石山雅美、鈴木英雄、下野房子、渡邊紀美子、小塚和良、
近藤通典、山本信子

[オンライン]

大矢健司、乾幸雄、鐘ヶ江広子、木村誠子、小山美紀

[事務局]

川本賀津三（健康福祉部担当部長）、伊東あゆみ（同部次長健康課長）

堀尾順一（同課課長補佐）、小川まゆみ（同課課長補佐）、藤井明子（同課課長補佐）、

榊原裕美（総括管理栄養士）、木村千春（同係主査）宮田あかね（同係保健師）

欠席者 [委員]

荒川正規、高木伸治、萩野ミドリ

(順不同)

傍聴の可否 可

傍聴者の有無 有（2名）

議事

事務局 定刻となりましたので、ただいまから、令和2年度第2回いきいき健康プランにっしん21推進委員会を開催します。委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席賜り、厚くお礼申し上げます。私は、健康課長の伊東でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、委員3名の方からご欠席の連絡をいただいております。委員17名のうち、出席委員は現在会場で9名、オンラインで5名、合計14名です。

「日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項」により、会の成立には半数以上の出席が必要となっておりますので、本日の会議は成立いたします。

会議は、1時間程度を予定しております。円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。それでは、次第により進めさせていただきます。

はじめに、大澤委員長からごあいさつをお願いします。

委員長 あいさつ

事務局 議事に入る前に会議資料の確認をお願いします。

(資料の確認)

本日、当日資料として、今年度提案型大学連携協働事業で名古屋学芸大学と制作しました「ヘルピーだより」と、新型コロナワクチン接種についてのホームページの

写しを追加していますので、ご確認ください。

オンラインで参加の委員の方は、市のホームページにも掲載されていますのでご確認ください。不足がありましたらお申し出ください。

では、これからの進行については、委員長をお願いします。

委員長 本委員会は傍聴が可能な会議となっています。本日傍聴希望者はありますか。

事務局 2名の傍聴希望者がいます。

委員長 本日2名の方が、傍聴を希望しています。本日の議題は次第のとおりです。個人のプライバシー等、公開するのに適当でない事項の審議はありませんので、入室を許可しますが、委員の皆様、よろしければ挙手をお願いします。(委員挙手)
それでは、傍聴者の入室を許可します。

(傍聴者入室)

委員長 それでは次第に従って議事を進めてまいります。議題(1)令和2年度事業実施状況について事務局から説明をお願いします。

事務局 議題(1)令和2年度事業実施状況について説明(資料No.1～6)
(手洗いの歌 DVD 放映)

委員長 議題(1)についてご質問、ご意見はございませんか。
資料6「歯と口腔の健康づくり条例」について何か御意見はありませんか。

委員 条例の詳細については確認しますが、口腔の環境は全身疾患に関わることなので、口の中の健康を保つことは感染予防の観点からも、健康に影響を及ぼすことであり、このような条例の話を進めていただけるのはとても大切なことだと思います。

委員 先日藤田医科大学の講演会でも条例の話ができました。日進市でも条例のことが進むように期待しています。

委員 「にっしん手洗いの歌」について、大人への周知は考えていますか。

事務局 子どもたちに手洗い習慣をまず身に付けてもらうように考えています。大人へは子どもを通じて浸透していったらと考えております。

委員 「低栄養リスク者への訪問指導」について質問があります。訪問件数についてと、対象者の栄養状態についてと、口腔面での問題があれば教えていただきたい。

事務局 訪問対象はコミュニティーサロン参加者で体重減少が著明だった人や、健診結果から抽出し、15件ほど訪問しました。食事状況の確認と食事指導をし、3か月後に電話で状況を確認しました。

委員長 コロナ禍において、できることを頑張ってやっているという印象を受けました。議題（2）令和3年度事業実施計画について事務局から説明をお願いします。

事務局 議題（2）令和3年度事業実施計画について説明（資料7）

委員長 説明のありましたことについて、ご意見、ご質問はございませんか。

私のことを申し上げれば、この一年はリモートや資料配布での授業になりましたが、振り返ってみると教材を見直すいい機会となり、教えたことが明確になりました。この会議もリモートが採用され、遠方の方でも参加しやすくなりましたように、大学関係の会議もリモートで行うことで、毎週のように遠方の方ともコミュニケーションをとることができるようになりました。

事務局に聞きますが、この一年はどうでしたか？

事務局 去年の1月からコロナウイルスによる感染が広がり、対応に追われた一年でした。当初は感染症対策として健康課を本部として対応してきましたが、対策本部が企画政策課に移ったことで全庁的な対応をすることができました。健康課では、乳幼児健診などは回数を増やし、対象者を減らすなど感染症予防対策をたて行ってきました。事業を減らさざるを得なかった分は、電話相談や訪問などで対応してまいりました。コロナの対応に追われるなかでも、事業を見直し、目的を明確にすることができたと思います。

委員長 今までは生活習慣病対策が主であったが、この一年は感染症対策が注目され、全国で健康への意識が高まったことは良かったと思います。

委員 この一年はソーシャルディスタンス、換気、手洗いを基本に感染予防を行ってきました。生活習慣病を診療していると、外出を控えることやテレワークが推進されることで運動量が減り、在宅の時間が増えると間食が増えてしまい、生活習慣病でない人も体重が増加した人が多い印象を受けます。また高齢者は筋肉量が減り、血糖や血圧、脂質などのコントロールが悪くなった人が多いです。ワクチンが普及すれば、感染症は予防できるかもしれないが、この一年で失った健康を取り戻すには時間がかかると思います。感染症予防対策をとりながら運動を行い、食事管理をしていかないと、健康寿命が短くなってしまおうのではと危惧しております。

委員　私が住む地区では、みんな家に籠ってしまい、回覧を回し、声掛けしても出てこない方が多いです。このような計画はあるものの、置き去りにされている方がいます。性格的なものもあるし、経済的なこともあります。どのようにしたらいいでしょうか？

事務局　健康課だけでなく、地域福祉課や市民協働課と連携しながら、地域の人々に声が届くようにしていきたいと考えております。

委員長　委員の方が地域で活躍しているということが分かることもこの委員会の目的です。各組織でできることには協力していきたいと思っております。

委員　食生活改善推進員での活動を紹介させてください。対面での調理実習ができなくなったなかで、いろいろ工夫し、今までとは違った活動ができ、この一年は活動の場が広がったという印象を持っています。活動を見直す機会になり、会員からも充実した一年だったという意見もありました。

委員長　外食を控え、家での食事の機会が増えたので、食育の観点からはいい一年だったのではないのでしょうか。

委員　「食品ロス」のチラシをご覧ください。食育インストラクターをしていて、県の「伝統文化の料理」「食品ロス」「野菜摂取」を中心に活動しています。10月30日を「食品ロス削減の日」としていますが、浸透していないと感じております。食品ロスゼロのお店も増えていますが十分ではありませんし、野菜摂取は愛知県民は少ないままです。このようなことを啓蒙して欲しいと思います。

委員長　時間となりましたので、予定していた議事はすべて終了とします。活発な意見交換をありがとうございました。それでは進行を事務局に返します。

事務局　委員長、委員の皆様ありがとうございました。最後に川本担当部長よりお礼の挨拶をいたします。

担当部長　あいさつ

事務局　これもちまして、第2回いきいき健康プランにつきしん21推進委員会を終了いたします。次回は来年度7月を予定しています。本日はありがとうございました。オンラインで参加されてみえる方は退室をお願いいたします。

本日はありがとうございました。

(午後3時終了)